

# 馬酔木通信 41 号

2022年3月

Enjoy your campus life!!



## INDEX

学長からのメッセージ.....	2	防災・環境委員会/学生レストラン.....	10
トピックス.....	3	留学生の声.....	11
生活未来科.....	4	学生レポート (生活未来科).....	12
地域こども学科.....	5	学生レポート (地域こども学科).....	13
学生・キャリア支援センター.....	6	学友会/学長賞.....	14
教育支援センター.....	6	夢の丘SAHOファーム.....	15
自己点検評価室.....	7	森田記念福祉財団からの寄付.....	15
情報メディアセンター.....	7	FD推進委員会からの報告.....	16
入試・広報センター/図書館.....	8	SD委員会からの報告.....	16
子育て支援センター.....	9	奈良佐保の取り組み (カレンダー).....	17
地域・国際連携センター.....	9	奈良佐保の取り組み (新聞掲載).....	18
		奈良佐保の取り組み (新聞掲載).....	19





2021年4月1日付で第7代奈良佐保短期大学長に就任いたしました。私は1983年(昭和58年)に着任以来38年本学で勤務しています。

今年は創立90周年の節目の年にあたりますので、就任にあたり、本学の歴史を振り返ってみたいと思います。

1931年(昭和6年)に奈良女子高等師範学校の同窓会「佐保会」により「佐保女学院」が設立され、当時は奈良女子大学構内で授業が行われていました。(写真1)

1931年佐保女学院授業風景(写真1)



1965年(昭和40年)に現在の鹿野園町に移り「教養識見ある女性を養成し、社会に貢献できる人材を育成すること」を建学の精神に掲げ、「佐保女学院短期大学」として「家政科(被服専攻、食物専攻)」からスタートし、1967年(昭和42年)には「食物栄養専攻(栄養士養成課程)」が開設され、1968年(昭和44年)に「奈良佐保女学院短期大学」の名称に変わりました。(写真2)

1973年には新たに「初等教育学科」を設置、小学校教諭・幼稚園教諭の養成が始まります。1988年(昭和63年)には家政学科が「生活科学科」に名称を変更し、生活科学専攻には服飾コース、食物コース、住生活コースの3コースがありました。このころ第2次ベビーブームによる18歳人口の急増に伴い、1400人の学生が

在籍していた時期があり、授業によっては教室に入りきれないほどの状態だったことを覚えています。1999年(平成11年)に生活科学科に「生活福祉専攻」を開設、日本の高齢化に対応すべく介護福祉士の養成を始めました。

21世紀がスタートした2001年(平成13年)は本学にとって大きな変革期となります。女子大学から男女共学の「奈良佐保短期大学」として生まれ変わったのです。これを機に初等教育学科は名称を幼児教育科とし、幼稚園教諭と保育士の養成を始めることとなります。当時男性の保育士は大変珍しかったのですが、予想を上回る男子学生が入学、教職員は男女共学一期生の教育に熱意をもって対応、キャンパスには活気が溢れました。これに合わせて、2003年(平成15年)には保育士資格を取得し卒業した学生が、その後1年間で介護福祉士の資格が取得できる「専攻科福祉専攻」を開設、2016年(平成30年)に廃止されるまでの間に200名の修了生を輩出しています。

2008年(平成20年)生活科学科は「生活未来科」に名称を変更「ビジネスキャリアコース」がスタート、2010年(平成22年)には幼児教育科が「地域こども学科」に名称を変更、2014年(平成28年)からは地域こども学科に「こども保育コース」と小学校教諭養成課程「こども教育コース」の2コースを設置、現在の奈良佐保短期大学の形となりました。

これまで、本学は短期大学となって以降17000人を超える卒業生を輩出しており、卒業生は保育、介護、栄養、ビジネスなど様々な現場で活躍しています。これからも建学の精神、教育理念に基づき、自己と他者を尊重し、教養識見高く、社会の進展に貢献できる人材を育成し、地域にとって“なくてはならない短期大学”であり続けたいと思います。

1968年キャンパス(写真2)



## Chromebook の取り組みについて

生活未来科 森永 夕美

国が ICT を活用した授業を推進しているところへ、新型コロナウイルス感染症による影響も受け、各大学ではオンライン授業の普及が進んでいます。

本学でも今年度の 1 回生から全員 Chromebook を持ち授業に臨めるようになったため、できるだけ活用できればと私も授業に取り入れました。

食物栄養コースやビジネスキャリアコースの「社会福祉概論」では、これまで授業の資料を毎回印刷して配布していたが、PDF にして Google クラウドに毎回 UP しました。学生は白黒印刷の資料ではなくカラーで見ることができ、また自分で拡大し大きさを調整できます。授業の終わりには Google フォームによる振り返りの小テストや視聴した映像等の感想の記入やアンケートを行いました。Google フォームのアンケート機能を使えば集計も早いため、授業の次の回にはその結果を学生に報告し共有しながら授業を展開しました。しかし、私の方がまだ使い方に慣れておらず、学生から度々指摘を受け修正することがありました。

「基礎ゼミナール I」では、防災に関するグループワークで Google Jamboard を使い、それぞれ付箋

に思いつく防災準備物を書き込んでもらいました。学生は最初とまどいつつも次第に付箋を張り付けていき、最終的に 47 もの準備物が集められました。集めたものを種類ごとに分類していき改めて防災に様々な準備物が必要であると認識できました。様々なアプリも使い方次第で面白い授業が出来そうなので今後も授業教材として活用方法を検討していきたいです。



## ICT 活用指導力の育成

地域こども学科 樹下 堅

すべての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するためには、ICT は必要不可欠です。そのため教員の養成段階において、学生 1 人 1 台端末を前提とした教育を実現しつつ、ICT 活用指導力の養成の教育を充実させることは喫緊の課題であると捉えています。

そこで、本学においては、算数科教育法の授業の中で、プログラミング学習を実施しました。

スパイロラテラルの課題を解決するために、スクラッチというプログラムを用いました。数値が小さいうちは手書きでも処理できますが、数値が大きくなったり、

形を変化させたりする場合は手書きでの処理は困難になります。スクラッチというプログラムを用いることで、さらに課題を発展的に考察することができました。

また、こども教育コースだけでなく、こども保育コースにおいても ICT を活用した授業を実施しました。自分の好きな絵本の写真を撮り、その写真をグーグルドライブを経由してパワーポイントに挿入します。その後、スライドに合わせて音声を録音することで、お気に入りのデジタル絵本が完成しました。

今後も ICT 活用指導力の育成に一層邁進してまいります。



## 福祉フェスタ

2021年10月13日、近隣の高齢者施設、障害者支援施設より利用者を本学にお迎えし、食物栄養回生によるランチ提供、生活福祉コース1・2回生によるレクリエーションを行いました。

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で学外実習が予定通り実施できず、生活福祉コース1回生にとっては初めて利用者に関わる機会となりました。期待と喜びを胸にグループで検討を重ね、レクリエーションを企画していきました。

当日は緊張した面持ちで利用者をお迎えし、会話のきっかけをつかめない1回生に、2回生が自らが利用者には話しかける姿を見せることでアドバイスする様子がありました。利用者より「楽しかった」「また来たい」とお言葉をいただきました。

## 生活福祉コース 武田 千幸

学生が利用者と嬉しそうに関わる様子を見て、介護福祉士養成において利用者との関わりが欠かせないものであることを教員も再確認し、コロナ禍において学びの機会をいかに確保していくかを考えるきっかけにもなりました。



## 減塩レシピコンテストにて金賞・銀賞を受賞



国立循環器病研究センター主催のレシピコンテスト「第5回 S-1g 大会」において、食物栄養コース2回生が金賞と銀賞を受賞しました。

「S-1g 大会」は「塩 (Salt) を 1g 減らそう (-1g)」がコンセプトで、高血圧予防啓発のための減塩料理レシピを全国から募る大規模コンテストです。

本年度前期、医療福祉フィールドの学生たちが療養食研究の一環でこの大会に挑戦した結果、応募作の中から2作品が予選を通過し、2021年

## 食物栄養コース 紀平 佐保子

12月18日の最終審査会に選出されました。

最終審査会は、COVID-19の影響でオンライン開催となり、選出学生はパソコンの前で作品解説やPRを行って、審査に挑みました。そして続く表彰式で、応募2作品の金賞受賞と銀賞受賞が発表されると、学生は歓喜に沸き、互いの栄誉を讃え合いました。

### 【受賞作品】

**金賞** 「体が気になってきたお父さんへ」

(作：新山・前田)

**銀賞** 「奈良の茶飯と多国籍弁当」

(作：田中・小川)

栄養や調理に関する学びの成果を発揮し、評価を得た経験は、将来、栄養士として活躍する際に大きな強みになると思います。今後も様々な挑戦を期待し、応援していきます。

## 2021年度 ベスト・トピックス

ビジネスキャリアコースにおける今年度各回生ベスト・トピックスをご紹介します。まず1回生は11月13日開催の「シニアスマホ講習会」。

昨今多くの自治体が高齢者への災害等緊急時連絡制度で悩み、その一助にスマホ講習会による防災メール受信があります。この実現を「ゼミナールⅡ」授業において企画、準備、実行、検証まですべて学生が行い、参加者の約90%が「とても役に立った」「スマホに興味が出てきた」との高評価を得ました。

次に2回生は「多彩な進路決定者続出し!」。本年度当コース進路方針として①一般就職(企業等)②資格就職(公務員・医療事務等試験や資格に沿った就職)③進学(4年制大学編入、専門学校)の3Wayを掲げ学生は果敢にチャレンジいたしました。その結果2021年度末で約100%の学生が内定・合格を得て①第一希望の製造業へ②念願

## ビジネスキャリアコース 吉村 司

の医療事務職で奈良、大阪の中核病院へ③経営学部系編入や大手アパレル専門学校へ、といった過去にないマルチステージで学生が個性にフィットした「ビジョキャリアらしい進路」を実現出来ました。

今後もより一層多彩で个性的でエキサイティングな教学マネジメントの展開を目指して参ります。



## オペレッタ劇の練習を通して学んだこと

こども保育コース 生駒 英法

2021年12月16日に地域こども学科2回生表現遊びフィールドの学生5名により、学外演習授業として幼保連携型認定こども園藍咲学園の4、5歳児の子どもを対象にオペレッタ劇の発表を行いました。

演目は、「金の斧と銀の斧」です。劇に使用する衣装や台本、背景、小道具はすべて学生の手作りで行いました。はじめに演目を選定する上で演じる人数が問題となりました。劇を行うためには、演じる人やナレーター、音響操作、裏で準備する役割等、5名で、劇を作り上げるには、基となる物語を限定しなければなりません。大学の図書館で絵本や参考書を調べた結果、今回の演目である「金の斧と銀の斧」であれば5名でもなんとか作り上げることが可能でした。演目が決定してからは、「金の斧と銀の斧」の物語を基に、子どもでも分かりやすい台詞を考えながら台本を作成していきました。そして今回のオペレッタ劇では、子どもたちが笑えるようなコメディ要素も加えました。木こりが斧を泉に落としたあとに神様が出てくるという場面を普通に登場するのではなく、面白く演出をすることにしました。ディズニー映画の「アナと雪の女王」の劇中歌である「雪だるまつくろう」の替え歌を歌いながら神様が泉から出てくるといふ演出を行いました。神様役である学生は、何度も歌の練習をしながら子どもに面白いと感じてもらえるよう頑張っていました。

また、今回、力をいれたのが演技です。この表現遊びフィールド2回生は、去年ペープサート劇を子どもたちの前で発表しているため、子ども前で表現することに対して抵抗はありませんでした

が、今回のオペレッタ劇では、役になりきり演じることについては初めての経験だったため、演技について重点を置きながら練習を行いました。例えば、子どもの目線に合わせて台詞を話すことや、子どもに分かりやすい動作を工夫し演出していきま

した。本番当日、学生は緊張した面持ちでしたが、これまで練習してきた成果を早く子どもたちの前で披露したいという気持ちの方が大きいようでした。そして、劇が始まってからは、やはり神様が泉から登場する場面で、狙い通り子どもたちから笑い声がありました。子どもたちは、はじめから最後まで楽しんでくれた様子で無事に大成功に終わりました。

2回生は、4月から保育現場へと就職していきます。今回のオペレッタ劇の経験を活かし表現する楽しさや大切さを現場でたくさん子どもたちに伝えていってほしいと思います。

最後に藍咲学園の皆様には、発表場所のご提供、ご協力をしていただきまして誠にありがとうございました。



こども教育コース 大石 祥寛

## 「第1回あそびのひろば」開催

2021年11月14日「コロナ禍の状況である今だからこそ地域の親子の皆さんに楽しんでいただける場を提供したい」との思いで「あそびのひろば」を企画。企画の段階から地域こども学科1回生が中心となって準備を進め、当日は「運動遊びの広場」「おはなしの広場」「手作り遊びの広場」の3つの「ひろば」にて子ども達をもてなしました。参加した方からは、「親子で楽しめるひとときでした」「運営の皆さんが、とても親切で安心しました」「こんなイベントを開催してくれて、ありがとうございます」などのコメントをいただきました。

新型コロナウイルス感染対策として午前と午後の2部制にしたり、参加人数や動線を制限したり、また、準備段階から感染対策として細心の配慮をしたりするなど、普段のイベント企画では経験できないことを学生は経験することができました。準備段階から終始楽しんでいる学生、記録係・駐車場誘導係として丁寧に仕事をしている学生、手遊び・ペープサート・絵本の読み聞かせなどの

準備・練習に真剣に取り組んでいる学生、当日嬉しそうに子どもに関わっている学生など、様々な学生の姿を見ることができました。地域こども学科にとって、学生の皆さんにとって実りあるイベントとなりました。



### 出来ることから始めよう

学生・キャリア支援副センター長 俵本谷 仁美

学生・キャリア支援センターでは、学生生活委員会と共に学生自治会の学友会を支援しています。学友会では、1年を通して様々なイベントを計画しています。その最大のイベントが大学祭です。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き今年度も中止となりました。

学友会のメンバーたちは、何か思い出に残ることをしようと話し合い、大きなイベントができなくても出来ることから始めようと日々授業の合間にみんなに楽しんでもらえる企画を考え実行しています。

7月には七夕笹飾りをし、学生たちに思い思いの願い事を短冊に書いて飾ってもらいました。11月にはハロウィン、12月にはクリスマスの飾り付けをするなど、少



しでも楽しい気分をみんなに届けたいと思い活動しました。そんな学生の思いに答えようと大学主催で12月21日(火)にクリスマス会を開催しました。

学生は、食事無料引換券とクリスマスプレゼントを受け取り、キッチンカー(唐揚げ、クレープ、ホルモン&フライドポテト)や売店(おにぎり、パン)で好きなものと交換し味わっていました。

また、学生ホール舞台では大道芸人によるパフォーマンスや軽音学部の動画配信などもあり、楽しいひと時を過ごしていました。



## 教育支援センター

### saho naviのすすめ

教育支援センター長 黒川 丈朗

本学の学生情報システム「saho navi」は LMS (Learning Management System) と呼ばれる学修支援システムです。そのシステムに昨年 2 月から外部アクセスを可能とし、約1年間の運用を踏まえて、学生・教職員の利用状況を蓄積してきました。さらに令和4年度から1回生、2回生ともに学生全員が個人パソコン (Chromebook) を所持することになりますので、学修ツールとしての活用方法を広げながら、学びの利便性をさらに高めて行くことを目指しています。

ログインするとトップ画面に新着や期限のあるものなど配信されている情報メニューが表示されます。インフォメーション掲示板による連絡事項、学生全員へのメール配信、教員をはじめ、学生宛でのメール送信など、大学と個々の学生とのコミュニケーションツールになります。また、学生が、受講する授業科目の履修登録、履修する授業科目の時間割、授業に関する連絡事項、履修している授業科目の出席状況、成績や GPA などを自身のパソコンやスマートフォンで瞬時に確認することができます。通学途中や自宅からもアクセスできますので、時間を有効に使って、キャンパスライフの質を高めるために役立てていただきたいと思います。まずは慣れるために学生の皆さんは、毎朝必ずログインすることを習慣にいただきたいと思います。

saho naviを使った資料提示、課題についてのやり

とり、アンケート機能など双方向機能により学生の主体的な学びを促しアクティブ・ラーニングの推進や学生の学修状況把握など教育支援のみならず様々な活用を推進するため、教職員対象に教務研修を開催したところです。使って慣れて人間の知恵で ICT 活用を便利にしていくことが本学における教育の質を高めることに繋がるものだと思います。



教務研修で「saho navi」の便利な機能を説明する  
教務委員 大石祥寛講師

## 認証評価(第三者評価)を受審して

自己点検評価室長 中田 奈月

2021(令和3)年度に奈良佐保短期大学は、一般財団法人大学・短期大学基準協会の認証評価(第三者評価)を受審しました。

大学および短期大学は、学校教育法第109条第2項の規定により、少なくとも7年に1度、質的改善・向上を目的として、教育研究等の総合的な状況について文部科学大臣の認証を受けた認証評価機関による評価を受けることとされています。

本学においては、教育研究水準の向上に資するため、教育研究等の状況について自己点検評価を行い、その結果を自己点検・評価報告書にまとめ公表しています。自己点検・評価報告書とは自己点検・評価活動の結果を記したもので、教育及び運営の改革に努め、社会に対して説明責任を果たせるよう編成されています。この報告書は毎年作成しており本学ウェブサイトにも公表されていますが、今年度は認証評価受審の前に、改めて本学の特色や社会的使命等を確認し、これまでの取り組みを振り返る機会とすべく、報告書作成や資料収集など、受審のための準備に取り組んできました。

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため

オンラインでの受審になりました。課題はありますが、建学の精神に基づき、真摯に教育に取り組んできたことや、地域社会に開かれた大学として地域社会と交流を図ってきたこと、従来のシステムの合理化・電子化・ペーパーレス等、教職員が力をあわせて取り組んできたこと等を中心に、本学の伝統に裏付けられた教育活動を評価していただく良い機会となり、また本学の教育活動を再確認する貴重な経験となりました。

今後とも教職員一同、研鑽に努めていきたいと存じます。



## 情報メディアセンター

## データサイエンス

情報メディアセンター長 川崎 敬二

令和3年に内閣府・文部科学省・経済産業省の3府省が連携し、各大学・高等専門学校における数理・データサイエンス・AI教育の取組に関する認定制度が始まりました。本学も本カリキュラム導入の準備をしています。

本学では新たに今年度から、「情報リテラシー」「データサイエンス」を開講しました。

次年度は「データ活用」と「プログラミング」を開講します。そのうち「情報リテラシー」は卒業必修科目になっています。

データサイエンスは、データに基づいて科学的な分析や予測を行うもので、ビッグデータと呼ばれる膨大なデータの中から、意外な相関を見つけ、予測を行います。

文章にすると難しそうですが、既に皆さんの身近にデータサイエンスはあります。オンラインショッピングやgoogle検索を何回か行くと、何もしなくても好みの商品とか検索したい項目が上位の方に表示されています。スポーツの世界では対戦相手の分析を即座に行って競技に活用、また、コロナ渦での繁華街の人数推移もそうです。

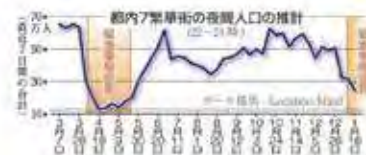
昨今、コンピュータの処理能力が格段に速くなり、様々な膨大データ処理が短時間で可能になっ

たため、皆さんの身近なものになってきています。

将来の職場でAIが導入されたり、ビッグデータの分析が必要になったときに対応できるよう基本的な知識を学生に対して提供することで、新時代の社会人養成を目指しています。



ネットショップの  
利用者購入分析



感染症の状況把握と予測



スポーツ競技での  
対戦相手の分析



医療データから患者の  
病気リスクを発見

データサイエンス活用事例

## コロナ禍の入試・広報業務

入試・広報センター長 木田 一芳

コロナ禍になってからオープンキャンパスに参加した高校生の感想には、「オンラインではなく、実際に見聞きできて良かった。大学選びに役立ちました。」という内容が多く見かけました。コロナ禍のオープンキャンパス開催は、実施するか否かをギリギリまで悩んで決断しています。

入試・広報センターは、高校生や社会人に進路決断する材料を提供し、本学を進学先として選ぶ高校生や社会人の獲得を目指しています。

コロナ禍前は、多くの学生の皆さんにスタッフとして参加していただいたり、参加者にレストランで学食体験をしていただいたりしていました。コロナ禍でプログラムを大きく変えざるをえませんでした。学生への感染を防ぐために学生スタッフは動員せず、感染リスクを下げるためにマスクを外すようなプログラムは避けることにしました。

コロナ感染対策として、使用するすべての教室の机や椅子を開催直前と直後にアルコール消毒をしました。それ以外にマスク着用や体温チェック・手指のアルコール消毒・3密回避・携帯用アルコール消毒スプレーの配布等の対策を消毒しました。開催中止の方が気楽に思えるぐらい、開催前や開催中・開催後 14 日間は、

参加者にコロナ感染者が発生しないことを願い緊張感をもって準備・運営をしました。

コロナ禍の入試は、感染防止と受験機会確保の両立を考えなければなりません。感染対策として、平素の対策以外に入試日の直前直後に使用する教室のすべての机と椅子のアルコール消毒や面接室は受験生が入れ替わるごとに扉・机・椅子・鉛筆等をアルコール消毒しています。入試当日は、受験中の体調不良者対応のために看護師有資格者を配置しています。また、コロナ感染で受験できなかった受験生のために、後日実施する入試日に受験できるようにしました。

このような思いや経験から、世間で行われているコロナ禍のイベントに参加した時、参加者が当日見るコロナ感染防止対策以外に、多くの感染対策や安全対策を講じて開催されていることとそこにご心労に思いを巡らせています。



## 図書館

## 引き続き、新しいサービスと変わらないサービス提供を

図書館課長 能瀬 澄美

2021 年度も、2020 年度に引き続き、閉館後の消毒等、昨年同様の新型コロナウイルス感染症に対する感染予防を徹底した上で、図書館サービスを継続しています。

学生の皆さんに、昨年度感染予防のため提供が難しかったサービスを少しでも多く提供できるよう努めました。

### ■「きらっと図書館講座 きらきらよ子の遊び講座 2021」の開催

2009 年から実施しているこの講座は、例年、昼食時に、図書館内で実施していましたが、昨年度は、新型コロナウイルス感染予防のため開催を見合わせました。

2021 年度は、和田宏一教員（本学非常勤講師）、生活福祉コース教員と相談の上、事前録画した講座内容「福祉施設における音楽レクリエーションの実際」（施設で好まれる曲、選曲方法の講義及び選曲した曲のピアノ弾き歌い）を DVD に

記録し、時間を 90 分に拡大して、生活福祉コース学内実習授業内で動画視聴にて開催することとしました。

### ■「文献の探し方・図書館の使い方」講習会

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、対面授業開始の 5～6 月に、短時間での開催となりましたが、2021 年度は 4 月に、90 分で、各学科・コースごとに密を避け、少人数に分けて、新入生を対象とした「文献の探し方・図書館の使い方」講習会を実施することができました。昨年度契約した「Maruzen eBook Library（学術書籍に特化した機関向け電子書籍配信サービス）」の講習もしました。

### ■「Maruzen eBook Library」に電子書籍を追加購入しました

昨年度導入した「Maruzen eBook Library」に電子書籍 11 点を追加購入し、3 月末現在、34 点の電子書籍を提供しています。学内であればいつでもパソコンや自分の Chromebook から手続きなしで利用することができます。本学図書館ウェブサイト「蔵書検索」や「saho-navi 学生情報システム」内にリンクがありますので、アクセスしてみてください。

学外から利用する場合は、事前に登録手続きが必要です。詳しくは図書館にお尋ねください。





子育て支援センターと学生の学び

子育て支援センター長 和田 公子

今年も運動場に設けた子育て支援センターの花壇に「皇帝ダリア」の大きな花が咲きました。青空に向かってのびやかに育った背丈の高い花です。花は空を見上げるほどに上を向かないと見えませんし、1 か月近くも咲き続けるのが珍しく、最近はそのここので見かけるようになった花です。

子育て支援センター「ゆめの丘 SAHO」は、奈良市の委託を受けた0歳からおおむね3歳までの子どもと保護者が利用できる子育てを応援する場所です。託児は実施していませんが、子育て中の親にとっては気軽に利用できる場所でもあります。さて、コロナ感染が少し落ち着いてきたころから、そろりと学生が子育て支援センター「ゆめの丘 SAHO」の広場に参加して学んでいます。「子育て支援フィールド」の学生は、週に一回2人ずつ「ゆめの丘 SAHO」の広場で利用親子と関わって学んでいます。



みんなで  
お絵描きしましょ

実習では触れ合うことのない保護者に子育ての喜びやしんどさを聞いたり、3歳までの小さな子どもたちの遊びに関わったりしています。保護者は学生の質問に丁寧に答えてくださり、学生の学びが深まっているように思います。先日は「秋のお散歩」に護国神社に行きました。どんぐりや色づいた葉っぱを拾って、子どもと一緒に楽しんだり、木の中に出て穴を見つけてびっくりしたり・・・。

学校のすぐ前にある神社にもかかわらず中々出会わない環境だったようで、改めて保育者と

しての在り様を学んだように感じました。



護国神社へ  
秋のお散歩

さらに保育ソーシャルワークフィールドの学生は、児童虐待防止月間に因んで広場内でポスターセッションを実施しました。



児童虐待防止月間  
ポスター発表

4組13人の親子を前に、絵本の読み聞かせから始まって、コロナ禍の虐待の実態の発表や虐待防止運動を表すオレンジリボンの製作などが展開されました。



オレンジリボン  
作りと一緒に

保護者からは、「虐待は誰にも起こりうる」と聞いて、改めて自分事として考えることができた良い機会だったとの感想が寄せられました。

子育て支援センターが学内にあることで、子育ての状況を垣間見ることができます。来所された利用者ぜひ声をかけてください。学生の皆さんの笑顔がきっと子育てをする保護者の気持ちを和ませてくれることと思います。

地域・国際連携センター

はじめての動画配信

地域・国際連携センター運営委員 中島 幸大

「動画配信」は情報伝達媒体として、様々な場面で見聞きすることが多くなりました。さらに、コロナ禍において「実際にその場所に行く」こと自体が敬遠され、ますます動画配信の重要性が取り上げられるようになりました。その中で、地域・国際連携センターは、地域との交流を目的として行っている「公開講座 2021 夢の丘 SAHO セミナー知の扉」を今年度は、一部の講座を「ライブ配信・オンデマンド配信」で実施しました。

講座を担当いただく教員や配信当日にスタッフとして参加した学生のご協力により、動画配信を成功させることができました。その結果、オンデマンド配信では再生回数64回、ライブ配信では再生回数365回となり数多くの方に視聴

いただくことができました。また、視聴いただいた方から「見やすかった」「良い配信だった」というお言葉もいただくことができました。

視聴者の中には、恐らく本学の事をあまり知らない方もいたと思います。だからこそ、この配信をきっかけに「奈良佐保短期大学」を知っていただき、地域との交流をもっと広げ、それを深め、地域社会に貢献する短期大学であり続けられるよう努力して参りたいと思います。



コロナ禍の地域防災避難訓練

防災・環境委員長 木田 一芳



「土砂災害や川の氾濫など、危険が差し迫っている場合は、“ためらわず”に安全な場所や避難所に早めに避難することが重要です。」というメッセージが緊急警報放送で流れます。ただ、避難所などで人が密集すると新型コロナウイルスに感染する心配もあります。そこで避難所は、どんなことに気をつけたらいいかを考え、今年度の地域防災避難訓練を実施することにしました。

新型コロナウイルス感染防止対策で例年と異なる点は、3密を避けるため、体育館内の人数を100名以上にならないように入場制限をしたり、各体験場所に手指を消毒するためのアルコール消毒器を設置したり、物品を消毒するためのアルコールスプレーで共

用部分を定期的に消毒したりしました。特に、出入口には自動体温検知器を設置し、受付では、携帯用アルコール消毒スプレーを参加者全体に配付しました。炊き出し訓練の試食は、マスクを外すことで感染リスクがより高まるため、「試食」を訓練の位置づけにして「無言試食訓練」と名付けて実施しました。

地域防災避難訓練は10月2日(土曜日)に無事終了し、2週間が経過しても新型コロナウイルス感染者が発生しなかったため、ほっとしました。

今年度のコロナ禍の地域防災避難訓練をきっかけに、大学全体のコロナ対策として、学生・教職員はもちろんのこと、子育て支援センターのスタッフや大学に出入りする業者・清掃員・警備員の方に携帯用アルコール消毒スプレーを全員に配付しました。

地域防災避難訓練の活動が契機となり、本学は2020年8月1日にドクターヘリのランデブーポイントに指定されました。指定と同時に、緊急要請が入った場合の対応マニュアルを作成し教職員で共有化しました。指定後、初めて2021年12月20日13時頃にドクターヘリの緊急着陸要請が入り、マニュアルに従い円滑な受入れができました。搬送された方の早期回復をお祈りいたします。

学生レストラン

レストラン鹿野園“Rock-ya-ON”～第2ステージのはじまり～ レストラン事業部 島村 知歩

2011年、創立80周年事業の一環で産学共創の学生食堂・レストラン鹿野園“Rock-ya-ON”はオープンしました。ガラス張りで奈良盆地から生駒山系まで一望でき、季節や歴史を感じながら奈良の食材を味わえる店として2012年には奈良県の「眺望のよいレストラン」に指定され、床や天井に樹齢80年以上の吉野杉を使用しており、明るくぬくもりのある環境は食事をするだけでなく、くつろげる空間として学生たちにも人気の場所です。

オープンから6年間の運営パートナーはプロトンダイニング社(奈良市)で、厨房にはプロトン凍結機を備え、学食・一般開放のレストラン運営だけでなく、総菜・スイーツ加工まで行っていました。ビュッフェスタイルのレストランは人気で奈良佐保を知っていただくことにも繋がりました。その後、フジオフードシステム(株)、大学での運営、京都 大志万とパートナーを変えながら運営してきました。

そして、11年目を迎えた今年度2021年4月から地域やヒトとの繋がりを大切にされ、地域やヒトの元氣、幸せを願いながら活動されている(株)いち屋市川真、真由美ご夫妻のお力をお借りすることになりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、食事の時間は人数制限、黙食と食事の楽しみも半減してしまう時間が続いています。4月からのレストランは、マスク、ビニールカーテン越しにも明るい挨拶が響き渡り、笑顔が飛び交う明るく楽しい場所になりました。

提供されるランチもボリューム満点、品数も多く、彩りも味もバラエティーに富み、目もお腹も心も満たされる内容です。今日のランチはなにかと学生たちの間でも話題になるようになりました。

そして今年のレストランの魅力は何とんでもなく大学農園で収穫した野菜を活用していただいていることです。生育の悪かった野菜や栽培過程で出てくる間引き野菜も、それぞれの持ち味を生かし、工夫を凝らして多くの料理に姿を変えました。作り方を尋ねる学生の姿もよく目にする光景です。また、学生たちに季節や野菜に関心をもってもらおうと、使用している農園野菜を紹介したり、定期的に、大学で収穫した野菜や果物を使用した一品をレシピと共に紹介したりすることも取組みました。

本来であれば、一般営業もスタートし地域の拠点になるような取組みも始めたいと考えていましたが、新型コロナウイルスの状況が落ち着かないため今年度は叶いませんでした。しかし、状況をみながらレストランと協働で地域やヒトが繋がる取組みをすすめていきたい、“Rock-ya-ON”でなにか新しい化学変化が起きるのではないかと楽しみでもあります。



## 生活未来科 生活福祉コース1回生 NGO NGOC LOAN (ゴ ゴック ロアン)[ベトナム]

私は日本に来て1年半以上になりました。日本での暮らし、大学生活、アルバイトにもだんだん慣れてきました。

現在、奈良佐保短期大学で介護福祉について勉強しながら老人ホームでアルバイトをしています。大変ですがいい体験だと思います。大学に入る前に日本人から介護福祉の知識は難しそうと聞きました。確かに難しいこともあります。勉強すればするほど面白いことも少なくありません。

人体の構成を学び、それを基礎として人間の病気、特に老年期に発症する病気について学んでいます。そのおかげで、年をとったら生活が難しくなり、そのような病気にかかりやすくなるのはなぜかという疑問を理解するのに役立ちました。

生活支援技術の授業で移乗・移動、食事介助などの技術を学んでいます。アルバイト先の職員の支援する姿を見るととても立派だと思い、利用者を助けるために支援技術を習得したいという意欲がますます湧いてきます。

校内の授業以外に学外での実習もあります。それを通して、様々な種類の介護施設に触れ、学校やアルバイト先で学んだことの知識を学べます。最近、身体だけでなく心理的な支援の大切さにも気



づきました。どのような声かけ、介助の態度が良いのかも勉強しています。

先生方の熱心で親切なご指導がなかったら、こんなに頑張れなかったと思います。これからまだ長い道がありますので毎日頑張ります。

## 生活未来科 ビジネスキャリアコース1回生

## HAKIM AZIZUL(ハキム アジズル)[バングラデシュ]

私は2019年に来日し、2021年まで日本語教育別科で日本語を学びました。日本へ来たばかりの頃は、日本の生活にあまり慣れてなくて、特に食べ物の面で、とても困りました。でも今は日本の食事に慣れて、最高だと感じています。この2年間は宮川久美先生をはじめ、たくさんの先生のお世話になりました。奈良佐保短期大学のビジネスキャリアコースに進学してからも日本語教育別科の先生方と交流があるので、とても感謝しています。勉強のことだけでなく、日常生活のことも先生方は相談に乗って下さるのでとてもありがたく、嬉しいです。

今年の4月から、奈良佐保短期大学のビジネスキャリアコースに入学して色々なことを学びました。グループディスカッションで内容をまとめたり意見を出したりすることにも慣れてきました。人前で話すのは苦手でしたが、1分間スピーチのおかげで人前で話せるようになりました。

最初は勉強とアルバイトを両立するのはけっこう難しかったです。でもバイト先で皆を応援したり、フォローしたりしたおかげで今はフロアの責任者になりました。人間は前に進むのは簡単ではないということも分かりました。しかし、諦めずに頑張れば出来ないことはないということも分かり、良い経験になりました。

家族と離れて住むのは寂しいと感じます。でも、いくら寂しくても、自分のために、家族のために、そして夢を叶えるために頑張っていきたいと考えています。留学して色々な経験をしました。外国人にとって日本人とコミュニケーションが取れるということはとても大事です。日本人の気持ちが分かれば仕事先で仕事をしやすくなると思います。これからも色々なことに挑戦して未来を変えていきたいと考えています。



## 生活福祉コースで学んだこと

## 生活福祉コース2回生 山崎 恵介

この2年間で、勉強が難しいという思いを忘れたことはありません。介護技術や、コミュニケーションであったり、医療的ケアなど難しい科目が多く、苦勞した記憶があります。しかし、難しい科目でも「やりがいがある」という考えを忘れたことはありません。出来たことで達成感を味わえ、また自分の成長にもつながったため、諦めずに取り組むことが出来たのではないかと考えています。出来るようになったのも、先生方の指導が関連しているということをお忘れはいけません。このことから、ここまで頑張ってきたのは、自分の頑張りだけではなく、支えてくれた方々も大きな要因であると言えるでしょう。

学生生活の中で、留学生と関わるとは思ってもいませんでした。自分の言ったことが通じるのかと不安は

大きかったのですが、その不安も学生生活を重ねるごとに消えていきました。なぜなら、日本語が上手に話せていたからであります。シンプルな理由ではありますが、本当に凄いと思っており、尊敬しています。そんな人たちと2年間、学生生活を送れたことを誇りに思います。



## 学外実習からの繋がり

## 食物栄養コース2回生 伴 美和

私は阪奈サナトリウムという病院で学外実習を行いました。阪奈サナトリウムでは、併設されている高齢者施設パークヒルズ田原苑の給食も担っており、約500食の食事を作っています。

初めての学外実習だったので、不安と緊張でいっぱいでしたが、今まで学んだことを発揮できるように頑張ろうと実習に臨みました。給食の対象は、高齢者の方、病を患っている方、様々なアレルギーをお持ちの方がおり、一人一人の状態に合わせて食事の内容や形態を変えて対応していらっしゃるから、自分の中で「食事」という言葉の意味を考えるきっかけを頂きました。さらに、現場では「生きるための食事」、食事をどうすれば召し上がって頂けるのかを常に考えておられ、管理栄養士の方の思いに触れることもできました。

実際に現場に出ると、一度に様々な食事の種類、また、学内で経験することが出来ない食数を目の当たりにし、実習を通して将来へのイメージを広げる

ことができました。

また、ただ栄養バランスのよい食事を考えるだけでなく、その献立で作った料理を召し上がって下さる方々が先にいるということを考えなければならないことを実感しました。現場実習は、体力勝負なところがあり、大変でした。しかし大切なことを学ばせて頂いた実習先で働きたいと思いが沸き、採用試験を受験し、内定を頂くことができました。今後さらに努力と経験を重ね立派な栄養士になりたいと思います。



## 学生生活は楽しかったです ビジネスキャリアコース2回生 CAO THI YEN (カオティイエン) (ベトナム)

私はベトナムから参りました。

学校に入学した後、自分が選んだコースでいろいろなことを学びました。授業を受けるたびに新しい知識が得られ、いろいろな活動に参加でき、就職に役立つと考えています。私にとって一番好きな科目はマーケティングです。常に売り手と買い手への意識がフラットな立場で経営活動を生みだし、アイデアとセンスを磨いていけるからです。

短期大学2年間の学校生活は、つらいこともありました。楽しいこともたくさんあった充実したものでした。卒業まであと少しとなり、本当にあっという間の学生生活でした。

卒業後、日本で会社人として好きな仕事に打ち

込んでいけるようになりたいです。たくさん友達ができ、クラス活動や学校生活でたくさんの思い出ができた大学生活は、私の宝物です。奈良佐保短期大学に入学できて、本当に良かったと思っています。



## 笑顔が見たいという思い

私は、今まで人前に立つことや自分の気持ちを表現することが苦手でした。自分の考えや思いがあったとしても発信しようとはせず、心の中にしまっていることが多々ありました。しかし、奈良佐保短期大学に進学して大きく変わりました。実際に保育園や幼稚園に実習に行かせていただき、園の生活の流れや子どもの心情、連携の大切さや保育の大変さなど様々なことを知り、実習後、感じたこと学んだことを友達や先生方、家族にも伝えたいと思うようになりました。

また、11月の「あそびの広場」では、パネルシアターを披露しました。人前に立つのには物凄く勇気がいり、なかなか思うように話せなかった私が、やり遂げられ自信ができました。披露できたのは、大

## こども保育コース1回生

増田 理恵

学の授業を受けて日に日に子どもたちが喜ぶようなことがしたい、笑顔が見たいという思いが募っていたからです。

他にも中学の頃は嫌いでよく練習をサボっていたピアノが好きになるなど、こんなにも成長できるとは思いませんでした。私を引っ張って色んなことに挑戦し、学校生活を楽ませてくれる友達や親身になって話を聞いてくださり、信頼できる先生方に出会えたおかげだと思います。これから、子どもの良さを引き出す保育者となれるよう、より一層、勉学に励みます。



## 2年間で一番頑張ったこと

2年間で一番頑張ったことは実習です。全部の実習では、子どもと積極的に関わり、分からないことがあれば保育者に聞き積極的に保育に関わる事を意識して挑みました。普段の授業では学べないことを実際に園に行かせていただき援助の方法、関わり方などを学びました。実習の回数を重ねるたびに保育に対するレベルが上がってきたように感じました。その中で部分実習もさせていただき子どもとの関わり方がわからなくなったり、子どもに対する話し方や言葉遣いが分からず、悩んだ時もありましたが保育者にアドバイスを頂いて良い実習にすることが出来たと思います。保育現場に出たときに学んだことを生かせるようにしたいです。

## 仲間大切さを知りました。

私は小学校教員になるために、この奈良佐保短期大学に入学しました。私がこども教育コースで1年間学んで感じたことは、仲間の大切さです。こども教育コースは、少人数で先生方や仲間との距離が近く、発言や質問がしやすいという魅力があります。入学当初は不安だらけでしたが、この少人数制のおかげで皆と打ち解けることができました。

本学では、2年間で教員免許の取得を目指すため、他大学に比べるとやはり忙しく、課題も多くありました。また、朝早くから授業が始まり、終わる頃には外は真っ暗ということも珍しくありませんでした。それでも頑張ろうと思えたのは、同じ目標を持つ仲間がいたからです。授業が続き、疲れてきたなど

## 2年間の学びで感じたこと

私が保育者になりたいと思ったきっかけは中学生の時に保育所で職業体験をしたことです。その時に初めて保育士がどんな仕事なのかを知るとともに保育士の仕事に魅力を感じ、将来は保育士になりたいと思うようになりました。

そして高校生になるときに保育のことが学べる高校に行き、そこで奈良佐保短期大学のことに知りました。オープンキャンパスに行った時にこども教育コースでは保育士資格・幼稚園教諭と小学校教諭が取得できることを知り、そのことに魅力を感じて入学をすることを決めました。

入学してからは、2年間で保育士資格・幼稚園教諭・小学校教諭の3つの資格を取得するために授

## こども保育コース2回生

大向 美憂

就職先を決めるにあたって迷う事もあったり、上手くいかず落ち込んでいたりする時もありましたが、沢山の先生方、友達に支えていただき頑張ることができました。

学生生活では運動が好きなのでスポーツフィールドに入っていました。疲れた時に体を動かして息抜きをして、たくさんの友達と関わりながら充実した学生生活を送ることができました。



## こども教育コース1回生

高芝 心

感じた時も、皆の頑張っている姿を見て刺激をもらいました。分からないところを教え合ったり、お互いに励まし合ったりすることで、自分は一人ではないということや何度も実感できました。その度に私は、仲間の大切さを改めて知ることができました。

残りの学校生活も忙しくなるとは思いますが、皆で切磋琢磨しながら成長していきたいと考えています。そして、夢に向かって全員で頑張っていきたいです。



## こども教育コース2回生

葛和 里奈

業がいっぱいあったり実習もあって大変なこともあったり、夢のためには必要なことだと思えば大変な時期を乗り越えることができたから、自分の夢に一步近づくことができたと思っています。

この奈良佐保短期大学を卒業したら1人の保育者として子どもの前に立った時に子どもの良いお手本になれるよう、2年間の学びを活かしていきたいと思っています。



## 学友会

### コロナ禍で出来ることからコツコツと！ 学友会長 地域こども学科 保育コース2回生 中井 音詩

私は一年間学友会役員を務め、その後学友会長になりました。

昨年度、新型コロナウイルスの影響によりイベントや行事がなかなかできなかったのですが、今年度は何か一つでもイベントができればという思いで活動を進めてきました。まず行ったのは、7月にある竹あかりのサポートでした。事前準備から当日まで補助をし、無事に成功させることができました。

10月には学生ホールにハロウィンの飾り付けをし、お菓子を配りました。12月にはクリスマスの飾り付けをし、みんなに楽しんでもらうことができました。

私たち学友会は、このご時世の中でもみんなにいい思い出ができるよう、さまざまな案を出し合い、イベントを考えています。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、行事等が出来ませんでした。来年度は状況が

落ち着き、大学祭や学友会行事等たくさんのイベントや行事ができるよう願っています。



## 学長賞

### 減塩弁当レシピコンテスト

### 生活未来科 食物栄養コース2回生 前田 結衣

医療・福祉フィールドの活動で、減塩弁当レシピコンテストに応募し、金賞を受賞することができました。

ペアで取り組み、考えたメニューは、椎茸ご飯・オクラとこんにゃくの豚肉巻き・ほうれん草とコーンのしらす和え・きのこことさつまいものニンニクソテー・卵焼きです。シンプルなものばかりですが、食塩の使用を控えて美味しく作ることが難しかったです。中でも、メインの豚肉巻きに力を入れました。

豚肉に片栗粉を付けてカリッと焦げ目がつく程度に焼いたり、仕上げに七味をまぶしたりすることで食感や風味にアクセントを付ける工夫ができました。

審査員の方からは、中に巻いた大葉の香りも食欲がそそられ、オクラとこんにゃくの2種類があるので食べると満足感があるという好評価をいただけて嬉しかったです。

また、作品のアピール動画作成時には、奈良公園の鹿と共に撮影することが出来ました。鹿にも受賞を後押しされているように感じ、思い出に残っています。

今回のコンテストを通じ、減塩というのは病気の予防・改善にも大事な栄養管理だと学ぶことができました。

4月から高齢者福祉施設に就職することが内定したため、医療・福祉フィールドで学んだこと

を活かしたいと思います。



新山陽子

前田結衣

待望のビニルハウス完成！

地域こども学科 特任教授 木田 一芳

令和3年3月末、学内農園「夢の丘 SAHO ファーム」に待望のビニルハウスが完成しました。

ビニルハウスは、間口8m×奥行き20mの広さで、自動換気装置・保温性を高める内張開閉装置・害虫の侵入を防ぐ防虫ネットや電熱温床などを備えた本格的なビニルハウスです。ビニルハウスができたことで、露地では栽培が難しい大きなトマトの栽培ができるようになったり、病害虫防除の消毒回数も減らせたりできるようになりました。

学内農園には、バナナ・くるみ・ヘーゼルナッツ・アーモンド・モモ・ブラックベリー・オリーブ・文旦・柚・レモンなどが育ち、小鳥のさえずりが聞こえて

くる自然豊かな農園です。

春夏秋冬の野菜の植え付けから収穫まで、生育状態を観察しながら手をかけて園芸作物を全学科・コースの学生が育てています。

また、学内農園は、学内外の「花いっぱい運動」の活動拠点にもなっています。

今年度は、マリーゴールド苗 2500 株を栽培しました。そのうち 900 株を地域や保育所・幼稚園に配布し、残り 1600 株は学内大型花壇等に植栽しました。ハボタン苗 400 株を栽培しました。そのうち 300 株（紅白セットにして 150 組）を地域に配布し、残り 100 株は学内に植栽しました。



森田記念福祉財団からの寄付

進化を続ける福祉用具

生活未来科 生活福祉コース 島村 真理子

奈良県の社会福祉の発展に寄与されている公益財団法人・森田記念福祉財団より助成金をいただき、生活未来科・生活福祉コースの車いすや高齢者疑似体験グッズなどを新調することができました。深く感謝申し上げます。

少子高齢化社会の中で進化を続ける福祉分野において、これから求められるものは柔軟に対応できる介護実践能力だと感じています。福祉用具もどん

どん進化を遂げている現在、そういった新しい用具に触れ、実際に活用する術を習得する機会に恵まれるということは、学生にとって非常に有意義なものとなります。

購入させていただいた用具を効果的に活用できる手法を模索しながら、福祉現場の即戦力となれる人材育成に取り組んでいきたいと思っています。



FD (Faculty Development) とは、個々の教員の教育内容や方法の改善のために、大学の理念・目標や教育内容・方法について、全学的かつ組織的な研究、研修に取り組むことです。

本学 FD 推進委員会では、自己点検評価室の所管の下に、1) FD 研修会におけるテーマの設定、講師の選任など、2) 学修成果の評価（学修成果報告）の原案策定、3) 効果ある授業展開のための研修プログラムの原案策定、4) 授業方法改善のための相互研修に関する日程の調整、5) その他、自己点検評価室長から諮問された事項、の 5 点についての審議を行い、具体的な計画・実施・評価を行っています。

令和 3 年度 FD 研修会は、情報メディアセンター運営委員会との合同によるリスクマネジメント研修（講師：川崎敬二本学情報メディアセンター長；オンデマンド配信併用）、および SD 委員会との合同による著作権研修（講師：大和淳福岡教育大学教育学部教授；オンライン・オンデマンド併用）の 2 回を実施しました。いずれも大学教育における喫緊のテーマであり、本学のリスク課題や授業改善につ

いてのヒントが示されたものとなりました。

また、学修成果報告は前期・後期それぞれにおいて実施され、その結果分析と学生へのフィードバックによって、大学全体としての授業改善（授業のねらいや内容が、学生によりの確に伝わる、学生の個人差に応じた授業方略・内容を日々研鑽する）の重要性が示されました。公開授業およびその検討・報告会においても、教員が相互に授業を見学しあうことによって、自分の授業をとらえなおし改善を促進する契機となっています。

このような FD 推進委員会の取り組みは、将来的には Society5.0 社会における短期大学教育のあり方に適合すると考えられます。



## 1. 令和 3 年度 SD 委員会の取り組み

### (1) ICT 研修の推進

令和 3 年度入学生から「Chromebook」必携化がスタート。令和 4 年度からは全学生が「Chromebook」必携となる本格的 ICT 教育が始まります。また新型コロナウイルス感染防止のためにも有効な手段となり、本学においても積極的に推進しています。教職員もこれらに積極的に対応できるよう、昨年度に引き続き ICT 研修等に取り組まれました。

### (2) 人権研修

令和 4 年 3 月 3 日が「全国水平社設立 100 周年」となることから、本学では人権研修に力を入れた活動を行いました。奈良県内の大学・短期大学と連携し、人権教育推進に取り組んだ他、学内においても人権教育推進委員会と合同で、倉田清氏が講師となり「人権について、一から考える～ええもんはええ、あかんもんはあかん～」と題した人権研修を行いました。今後、奈良にある人権ゆかりの地を訪ねる等の現地研修も実施する予定です。

### (3) 全教職員が参加

SD 活動が、短期大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図ることとしていることから、全教職員に研修参加を求めました。当日、授業や学生指導等で参加できない者には、オンデマンド方式による参加も可とし、全教職員が参加した研修となり、教職員の知識及び技能を習得、その能力及び資質の向上に努めました。

## 2. SD 委員会からの提案

SD 委員会の本来の目的である「事務の業務見直し」「事務処理の改善」について、検討をすすめ、「事務改善」について、SD 委員会から、令和 3 年 9 月 9 日開催の第 8 回教授会に改善方策について提案しました。

これは、効率的な事務執行を目指し「業務効率化のための総合的改善運動」として提案したものです。国が大学等に求める SD 活動を踏まえた取り組みとしています。「国が大学等に求める SD」とは、大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その教職員に必要な知識及び技術を習得させ、その能力及び資質の向上を目的とした研修のことです。

## 3. 今後の SD 活動

### (1) ペーパーレス化の推進

令和 2 年度から取り組みを始めている「教授会におけるペーパーレス化」を一層進めるため、新しいソフトウェアを使った取り組みの検討を始めます。

### (2) コンサルタントの力を借りた業務直し

間接経費の洗い直し（見直し）や費用対効果の検証を進めることします。

### (3) 働きやすい職場作りのための研修

セクシャルハラスメントやパワーハラスメントの防止など人としての尊厳を守り、働きやすい職場作りをめざし、人権教育推進委員会とも協同で人権研修にも積極的に取り組みます。



## 2021年度 奈良佐保の取り組み

4月	2日	入学式	9月	16日	卒業式
	5日~6日	オリエンテーション		17日	学内避難訓練
	7日	公務員試験対策講座		18日	第6回オープンキャンパス ピアノ無料講習会(延期)
	13日	公務員試験対策講座		24日	大人のオープンキャンパス
	17日	第1回オープンキャンパス		25日	第6回オープンキャンパス ピアノ無料講習会
	18日	介護職員初任者研修		10月	2日
29日	公務員試験対策講座	11~15日	朝のあいさつ運動		
5月	2日	介護職員初任者研修	16日		自主的活動評価入試総合型選抜(体験面談)入試・社会人入試・外国人留学生入試(国内)
	9日	介護職員初任者研修	23~24日		奈良佐保短期大学 大学祭中止
	16日	進学なんでも相談日	23日		進学なんでも相談日
	16日	介護職員初任者研修	24日		進学なんでも相談日 第6回公開講座「バンブーランタンづくりにチャレンジ!」
	23日	介護職員初任者研修	29日	ハロウィンパーティー	
29日	第2回オープンキャンパス(中止)	11月	2日	公務員試験対策講座	
6月	7日~11日		朝のあいさつ運動	7日	第7回オープンキャンパス ピアノ無料講習会
	13日		第3回オープンキャンパス ピアノ無料講習会	13日	福祉フェスタ(生活未来科)
	17日		本学農園産のマリーゴールドを使って「夏の花いっぱい運動」で地域へ配布	14日	あそびのひろば(地域こども学科)
	20日		介護職員初任者研修	16日	公務員試験対策講座
	22日		本学農園産のマリーゴールドを使って「夏の花いっぱい運動」で地域へ配布	19日	大人のオープンキャンパス
	26日	進学なんでも相談日	27日	学校推薦型選抜(公募)1期・学校推薦型選抜(指定校)総合型選抜(面談)入試・社会人入試・外国人留学生入試(国内)	
7月	26日	介護職員初任者研修	29日	奈良市及び若者応援プロジェクト奈良による食料支援	
	26日	公務員試験対策講座	30日	公務員試験対策講座	
	3日	公務員試験対策講座	12月	4日	里親の会クリスマス会
	4日	介護職員初任者研修		5日	第8回オープンキャンパス ピアノ無料講習会
	5日~9日	朝のあいさつ運動		17日	大人のオープンキャンパス
	7日	七夕飾り		20日	本学農園産の葉ボタンを使って「花いっぱい運動」で地域へ配布 「企業の方と考えるよう～生活未来科 就職討論会」
	8日	第1回お仕事相談会		21日	地域こども学科「保育・教職実践報告会」 クリスマス会
	10日	第4回オープンキャンパス ピアノ無料講習会 一人暮らしツアー		22日	生活未来科生活福祉コース「事例研究発表会」
	11日	公務員試験対策講座	26日	生活未来科 入学前体験授業(オンライン配信)	
	11日	介護職員初任者研修	1月	28日	地域こども学科「保育・教職実践報告会」
	17日	公務員試験対策講座		11日	公務員試験対策講座
18日	介護職員初任者研修	15日		自主的活動評価入試・学校推薦型選抜(公募)2期・総合型選抜(面談)入試・社会人入試・外国人留学生入試(国内)	
22日	「竹あかり」イベントに参加(場所:学内)	18日		奈良市による食料支援	
25日	進学なんでも相談日	25日		地域こども学科成果発表会	
8月	1日	介護職員初任者研修		2月	29日
	4日	第1回公開講座「もしもの時のために…みんなで作ろう!防災食!」	1日		生活未来科ビジネスキャリアコース卒業研究発表会
	7日	進学なんでも相談日	6日		生活未来科 成果報告会「オンライン開催」
	18日	奈良県立磯城野高等学校ヒューマンライフ科インターンシップ(地域こども学科)	11日	一般選抜・総合型選抜(面談)入試・社会人入試・外国人留学生入試(国内)	
	21日	第2回公開講座「絵本と音楽の融合によるこぼれ表現」～絵本オババの世界へ～(ライブ配信)	3月	27日	第10回オープンキャンパス ピアノ無料講習会
	22日	第5回オープンキャンパス ピアノ無料講習会 一人暮らしツアー		7日	一般選抜・総合型選抜(面談)入試・社会人入試・外国人留学生入試(国内)
	23日~24日	第三者評価受審		13日	生活未来科食物栄養コース「学外実習・給食管理報告会」
	28日~9/4日	第3回公開講座「フンポイント介護技術」～立ち上がりから～(オンデマンド配信)		18日	卒業式・修了式
29日	介護職員初任者研修	26日		第11回オープンキャンパス ピアノ無料講習会	
9月	26日	奈良県立磯城野高等学校ヒューマンライフ科 入浴体験実習			
	2日	第4回公開講座「判断力を養う」～避難所ゲームに挑戦～			
	3日	第5回公開講座「スクワット運動の基礎」			
	4日	自主的活動評価入試			

令和3年4月5日(月) 奈良新聞

校内学長の前で宣誓する部入生代表=2日、奈良市鹿野町の奈良佐保短大



夢の実現目指して 保護者らライブ配信で 奈良佐保短大で入学宣誓式

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、保護者らライブ配信で入学宣誓式が行われた。

令和3年6月12日(土) 奈良新聞

オンラインで介護実習

奈良佐保短大 施設と結び現場学ぶ



奈良市鹿野町の奈良佐保短期大学(池内まゆみ学長)は12日、介護施設と連携し、オンラインで介護実習を行った。

令和3年6月23日(水) 奈良新聞

「花のある町」実現へ

奈良佐保短大の周辺住民に苗配布



奈良市鹿野町の奈良佐保短期大学(池内まゆみ学長)は23日、周辺住民に苗を配布した。

令和3年6月25日(金) 奈良新聞

プレゼンテーションコンテスト



1位にベランギ・モナさん

考えや思い伝え、感性磨く

奈良佐保短大(池内まゆみ学長)は25日、プレゼンテーションコンテストを開催した。

令和3年8月3日(火) 奈良新聞

癒やし、勇気届けたい

学生有志らデザイン



コロナ禍乗り越えよう

奈良佐保短大で「竹あかり」を制作する学生有志らが、コロナ禍を乗り越えようとする思いを込めて、あかりを制作している。

令和3年10月6日(水) 読売新聞

学生主体で防災訓練

AED操作解説



奈良佐保短大(奈良市鹿野町)で、学生主体の防災イベントが行われた。

令和3年10月3日(日) 奈良新聞

避難所運営、円滑に

ベッド組立演習など体験



AED(自動体外式除細動器)の操作を体験する参加者=2日、奈良市鹿野町の奈良佐保短期大学

奈良佐保短大(池内まゆみ学長)は3日、避難所運営の体験型訓練を行った。

令和3年10月21日 大学新聞掲載



体験を通して地域住民と共に防災への意識を高めた

### 地域と共に学ぶ 防災避難訓練を実施

#### 奈良佐保短期大学

奈良佐保短期大学(奈良)は10月21日、「地域防災避難訓練」を実施した。平成30年から実施している地域防災避難訓練は、「南海トラフ巨大地震」の発生を想定した実践的な取り組みで、今後の第二次避難所の支援体制の充実・強化を図り、誰もが安心して暮らせる地域づくりに資することを目的として実施した。

当日は学生や教職員など、学内参加者が162人、地域住民や協賛団体などの学外参加者が131人の合計293人が参加した。より実践的な訓練にするため、教職員を含め学内参加者は、事前告知はなく、当日に担当する班が発表された。「捜索班」や「連絡班」などの班ごとに準備を行い、訓練を開始。学生は、住民の避難を誘導し避難者を確保する作業を行った。「段

令和3年11月16日(火) 奈良新聞

### 実践的な学びの場に

佐保短大 地域の親子と学生らが触れ合い

奈良市鹿野町の奈良佐保短期大学は14日、同短大「あそびのひろば」を開催。地域でも学校で学ぶ小学生、幼稚園教諭や保育士を自指す学生らが地域の子どもたちと触れ合った。

同大学の授業の一環、午前2時間の部に分かれ、未就学とその保護者約95組が参加した。

会場には三つの「広場」を用意。「あそびの広場」では、学生らが「おままごと」や「おままごと」などの大型絵本を眺めながら



同校長の勝田麻津子教授は、地域の親子に楽しんでほしいと話す

「手作りあそび広場」で、跳び箱や平均台などを使ってサーキット遊びをする「運動遊びの広場」もあった。

同校長の勝田麻津子教授は、地域の親子に楽しんでほしいと話す。

令和3年12月23日(木) 奈良新聞

### コロナ禍でも思い出せ

佐保短大でクリスマス会

奈良市鹿野町の奈良佐保短期大学(254人)は、池田町やクリスタルを味わった。クリスマス会を開催した。

クリスマス会を開催した。クリスマス会を開催した。



手品ショーを楽しむ学生ら=21日、奈良市鹿野町の奈良佐保短期大学

令和3年11月30日(火) 奈良新聞



食品を受け取る学生(右手前)=29日、奈良市鹿野町の奈良佐保短期大学

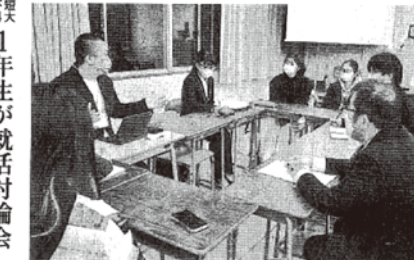
奈良佐保短大が支援の食料配布

奈良市鹿野町の奈良佐保短期大学は29日、新型コロナウイルス感染症の影響で経済的に困窮している同短大生を支援するため、食料品を配布した。

奈良市のフードバンク事業、

令和3年12月30日(木) 奈良新聞

### 企業、社会の理解深めて



企業経営者からのアドバイスを受ける1年生

1年生が就活討論会

奈良佐保短大 1年生が就活討論会

奈良佐保短期大学の奈良佐保短期大学(池田町)は20日、生活未来1年生約60人を対象に、企業経営者やマネージャーらを講師に、就活討論会を開催した。

令和4年2月8日(火) 朝日新聞

コロナで困窮学生に

奈良佐保短期大学は、新型コロナウイルス感染症の影響で困窮している学生を支援するため、食料品を配布した。

奈良市のフードバンク事業、

KBD 困窮する人に

活用する400本を加工・配布へ

奈良市農業委員会が遊休農地解消のため育てた大根約400本が、コロナの影響で廃棄が中止になるなどして配布先がなくなった。2日には、約400本の大根が奈良佐保短期大学(奈良市)の学生らに加工して大根に加工された。



大根を切る参加者たち=奈良佐保短期大学

## 2022年度入試（2023年度入学生対象）

入 試 種 別	
自主的活動評価入試	高等学校等における校内外での自主的な活動の実績を評価する入試です。
総合型選抜（体験）	就きたい専門職にかかわる授業を体験し、そこでの努力する姿勢や意欲、コミュニケーション能力を評価する入試です。
総合型選抜（面談）	希望資格や学びたい内容が本学の教育内容と一致しているかなどについて、志望学科の教員とじっくり話し合い、受験するかどうかも含めてともに考えていく入試です。
学校推薦型選抜（指定校）	本学が指定する高等学校長の推薦により、選考試験を実施する入試です。
学校推薦型選抜（公募）	高等学校長の推薦により、選考試験を実施する入試です。
一般選抜	学力試験及び面接試験により、合否を判定する入試です。
社会人入試	入学時に満20歳以上の人を対象とする入試です。
外国人留学生入試 （国内居住者用）	日本在住の外国人を対象とする入試です。

### 2022年度 オープンキャンパス

#### 日時

2022年 4/17（日）  
5/14（土）  
6/ 5（日）  
7/ 9（土）  
7/17（日）  
8/ 6（土）  
8/21（日）  
9/ 4（日）  
11/ 6（日）  
12/10（土）  
2023年 1/28（土）  
2/19（日）  
3/25（土）

いずれも  
午後1時～

場所 本学

☆予約不要



※ウェブで申込みをされた方には  
ステキなプレゼントあり！

### ミニ・オープンキャンパス

#### 日時

2022年 5/ 1（日）  
6/18（土）  
10/22（土）  
10/23（日）

いずれも  
午後1時～

場所 本学



### 2022年度 大人のオープンキャンパス

#### 日時

2022年 11/18（金）  
12/16（金）  
2023年 1/20（金）

午後6時～  
午後8時

場所 本学